



## 2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月30日

上場会社名 エスリード株式会社

上場取引所 東

コード番号 8877 URL <https://www.eslead.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒牧 杉夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 井上 祐造

TEL 06-6345-1880

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	82,501	10.5	14,137	12.2	12,548	3.2	7,960	2.3
2025年3月期第3四半期	74,667	30.5	12,602	49.4	12,162	46.9	7,781	49.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 8,055百万円 (4.0%) 2025年3月期第3四半期 7,742百万円 (46.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	515.94	
2025年3月期第3四半期	504.33	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	253,004	78,352	31.0	5,078.15
2025年3月期	227,029	73,460	32.4	4,761.07

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 78,352百万円 2025年3月期 73,460百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		85.00		100.00	185.00
2026年3月期		105.00			
2026年3月期(予想)				135.00	240.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	16.1	18,000	23.7	16,000	16.4	10,700	14.7	693.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	15,465,600 株	2025年3月期	15,465,600 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2026年3月期3Q	36,236 株	2025年3月期	36,193 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	15,429,381 株	2025年3月期3Q	15,429,508 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国経済は、円安が続く為替状況とそれに伴う物価上昇、地政学的リスクの高まりによる原材料価格の高騰、米国の通商政策等に注視が必要な状況が継続しているものの、雇用・所得環境の改善や高い水準にある企業収益などの要因により、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの属する不動産業界においては、用地代・建築コストの値上がりに伴う不動産販売価格の上昇及び高止まりが続いているものの、堅調なインバウンド需要や円安の長期化を背景に、国内外の投資家の投資意欲は依然として高い水準を維持しております。一方で、住宅市場については、政府による継続的な各種支援制度等が継続されているものの、開発コストの高騰や施工体制の制約等の影響により、住宅建設は弱含みの状況となっております。

当社グループは創業当初のマンション専業体制から事業領域を着実に広げ、現在では「真の総合不動産会社」としての確かな基盤を築いております。その取り組みとして、マンション事業以外に、大阪・関西万博（Expo 2025 Osaka）のシンガポールパビリオン建設、ラウンドワン三宮駅前店取得、冷凍冷蔵倉庫開発、ヘルスケア関連施設開発、ホテル開発、オフィスビル取得を手掛けるなど、商業・事業施設事業や総合建設業など多岐にわたる事業を展開してまいりました。今後も新たな事業領域に積極的に挑戦し、総合不動産会社としての使命を果たしてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は825億1百万円（前年同期比10.5%増）、連結営業利益は141億37百万円（前年同期比12.2%増）、連結経常利益は125億48百万円（前年同期比3.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は79億60百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

なお、当社グループの主力事業であります不動産販売事業においては、引渡基準を採用しており、売買契約成立時ではなく、顧客への引渡をもって売上が計上されます。例年、引渡時期が特定の四半期に偏重する傾向があり、各四半期の売上高及び利益水準は著しく相違する傾向にあります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①不動産販売事業

不動産販売事業においては、当社の強みである個人法人顧客や国内外の機関投資家等を対象にした充実した出口戦略を活かした結果、おおむね計画通りに推移し、外部顧客への売上高は599億4百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益は103億38百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

#### ②その他事業

当社グループ会社の事業が堅調に推移し、外部顧客への売上高は225億96百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益は44億1百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて259億74百万円増加して2,530億4百万円となりました。主な要因は仕掛販売用不動産の増加256億40百万円、売掛金の減少15億32百万円によるものです。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて210億82百万円増加して1,746億51百万円となりました。主な要因は長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の増加245億47百万円、電子記録債務の減少20億24百万円、短期借入金の減少13億3百万円によるものです。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて48億92百万円増加して783億52百万円となりました。この結果、自己資本比率は31.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期（連結・個別）の業績予想につきましては、2025年5月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,242,775	31,843,871
売掛金	2,670,135	1,137,218
販売用不動産	83,611,209	84,289,485
仕掛販売用不動産	90,657,956	116,298,737
その他	5,332,823	5,933,092
流動資産合計	213,514,900	239,502,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,824,266	1,776,314
機械装置及び運搬具（純額）	1,605,837	2,077,802
土地	3,374,789	3,374,789
リース資産（純額）	1,137,854	1,058,308
建設仮勘定	1,515,477	—
その他（純額）	39,414	44,754
有形固定資産合計	9,497,640	8,331,970
無形固定資産	262,883	229,794
投資その他の資産		
投資有価証券	499,971	642,169
繰延税金資産	855,236	737,922
その他	2,399,019	3,560,004
投資その他の資産合計	3,754,227	4,940,095
固定資産合計	13,514,751	13,501,860
資産合計	227,029,651	253,004,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,264,933	1,049,252
電子記録債務	3,212,000	1,188,000
1年内償還予定の社債	—	100,000
短期借入金	4,010,000	2,706,495
1年内返済予定の長期借入金	32,577,416	43,730,674
リース債務	138,889	136,382
未払法人税等	3,069,973	2,387,950
前受金	1,807,594	2,140,783
賞与引当金	238,108	125,438
その他	1,936,093	2,615,351
流動負債合計	48,255,007	56,180,328
固定負債		
社債	1,500,000	1,350,000
長期借入金	101,559,759	114,953,851
リース債務	1,089,707	1,000,971
退職給付に係る負債	178,057	193,340
役員退職慰労引当金	243,875	247,625
資産除去債務	23,320	23,320
その他	719,502	702,245
固定負債合計	105,314,220	118,471,354
負債合計	153,569,228	174,651,682
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,983,000	1,983,000
資本剰余金	2,871,307	2,871,307
利益剰余金	68,467,160	73,264,770
自己株式	△65,690	△65,890
株主資本合計	73,255,778	78,053,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204,644	299,396
その他の包括利益累計額合計	204,644	299,396
純資産合計	73,460,423	78,352,584
負債純資産合計	227,029,651	253,004,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	74,667,848	82,501,013
売上原価	55,607,772	61,112,539
売上総利益	19,060,076	21,388,473
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	373,614	466,640
給料及び賞与	2,569,169	2,892,320
賞与引当金繰入額	103,798	117,468
退職給付費用	71,307	58,929
役員退職慰労引当金繰入額	3,937	3,750
租税公課	1,421,517	1,514,059
減価償却費	92,635	90,610
その他	1,821,853	2,107,412
販売費及び一般管理費合計	6,457,832	7,251,191
営業利益	12,602,243	14,137,282
営業外収益		
受取利息	1,657	25,854
受取配当金	18,137	17,664
解約違約金収入	8,592	5,483
保証金敷引収入	62,357	68,240
助成金収入	12,623	16,939
受取保険金	3,540	135,609
受取事務手数料	49,357	66,859
その他	33,260	70,793
営業外収益合計	189,526	407,445
営業外費用		
支払利息	627,232	1,646,186
その他	2,130	349,722
営業外費用合計	629,363	1,995,909
経常利益	12,162,406	12,548,817
特別損失		
固定資産除却損	—	1,212
特別損失合計	—	1,212
税金等調整前四半期純利益	12,162,406	12,547,605
法人税、住民税及び事業税	4,449,333	4,517,103
法人税等調整額	△68,548	69,868
法人税等合計	4,380,785	4,586,971
四半期純利益	7,781,621	7,960,633
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,781,621	7,960,633



(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	7,781,621	7,960,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,435	94,751
その他の包括利益合計	△39,435	94,751
四半期包括利益	7,742,185	8,055,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,742,185	8,055,384
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	387,264千円	453,584千円
のれんの償却額	26,250千円	26,250千円

(セグメント情報等の注記)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産 販売事業	その他事業 (注) 1	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,105,172	20,562,676	74,667,848	—	74,667,848
セグメント間の内部売上高 又は振替高	718,325	7,667,417	8,385,742	△8,385,742	—
計	54,823,497	28,230,093	83,053,590	△8,385,742	74,667,848
セグメント利益	10,653,111	3,567,563	14,220,674	△2,058,267	12,162,406

(注) 1. 「その他事業」は、不動産賃貸事業、不動産管理事業、電力供給事業、建設・リフォーム事業、不動産の仲介・買取再販事業、戸建分譲事業、宿泊施設の運営・管理事業、不動産証券化事業及びマンション・ビルの清掃事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,058,267千円には、セグメント間取引消去△245,170千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,813,097千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産 販売事業	その他事業 (注) 1	計		
売上高					
外部顧客への売上高	59,904,987	22,596,026	82,501,013	—	82,501,013
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,314,669	3,687,347	5,002,016	△5,002,016	—
計	61,219,656	26,283,373	87,503,030	△5,002,016	82,501,013
セグメント利益	10,338,732	4,401,164	14,739,896	△2,191,079	12,548,817

(注) 1. 「その他事業」は、不動産賃貸事業、不動産管理事業、電力供給事業、建設・リフォーム事業、不動産の仲介・買取再販事業、戸建分譲事業、宿泊施設の運営・管理事業、不動産証券化事業、マンション・ビルの清掃事業及びアパートの開発・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,191,079千円には、セグメント間取引消去50,325千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,241,404千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。